

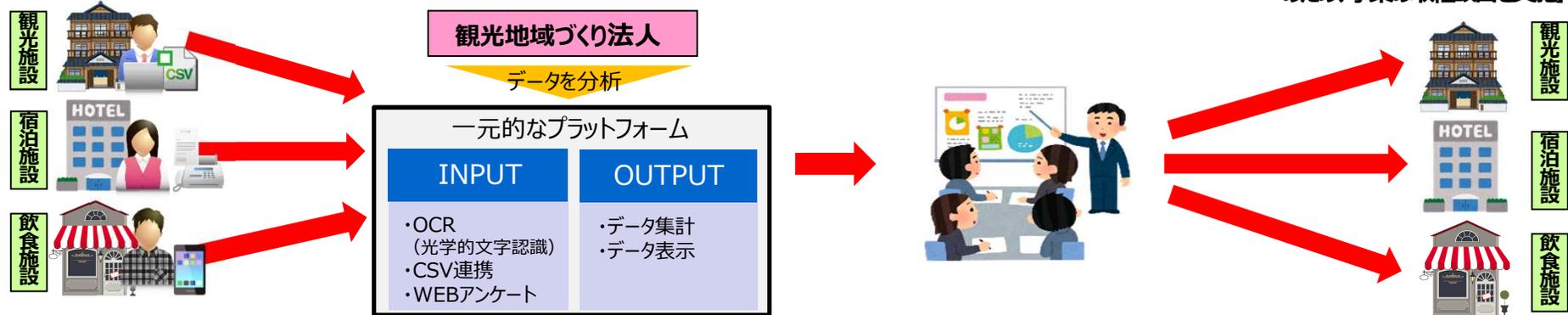
- 観光地域づくり法人(DMO)が地域内の宿泊施設、観光施設等における観光客のデータを集約するためのプラットフォームを構築。
- 観光地域づくり法人は、データ分析・観光地域づくりの戦略策定を通じて、観光関連事業者を支援し、旅行消費の増大やリピーターの確保を図る。

【①各施設が観光客のデータをプラットフォームに共有】

【②収集した国籍、住所、性別、年齢等のデータを観光地域づくり法人が分析】

【③観光地域づくり法人から各施設に対して、データ分析結果や観光地域づくりの戦略を提供】

【④各施設は、データ分析結果や観光地域づくりの戦略を踏まえ、売上げ増やリピーター確保のため、事業の取組改善を実施】



モデル地域において①～④の取組を実施。効果検証・改善を行った上で横展開を図る。

想定される効果

観光地域づくり法人

- より精緻なデータに基づいた観光地域づくりの戦略の策定
- 観光客動向の変化を迅速に把握し、戦略へ反映

宿泊施設、観光施設、飲食施設

- 利用の多い国籍・年代・性別等を見極めたサービスの提供・新商品の開発

旅行消費の増大・リピーター確保

- 宿泊業においては、他産業と比較して相対的に生産性が低い状況であることに加え、深刻な人材不足が生じている。他方、訪日外国人旅行者の増大など経営環境が変化しており、宿泊施設は、従来の経営ノウハウから脱却する必要がある。
- このため、業務効率化や施設間連携による生産性向上の取組みを支援することにより、宿泊施設の経営力向上や集客力向上を図る。

事業概要

①各宿泊施設の生産性向上

- ・ 組織内における業務量の平準化や、勤務時間の短縮のために有効なマルチタスク導入に向けたシンポジウムを全国各地で実施。



②宿泊施設等の連携による生産性向上

- ・ 時期によって閑散期が異なる地域内外の宿泊施設等で、労働力を融通させる仕組みの創出に向けたモデル事業を行う。



③宿泊施設が行うべき生産性向上の取組・手順に係るガイドラインの作成

- ・ 業務改善に取り組む宿泊施設を支援するため、生産性向上の取組・手順に係るガイドラインを作成する。

